

梅田川・水辺の楽校協議会
会長：新治小学校校長 三浦和弘

問い合わせ先
横浜市立新治小学校内
TEL. 045-931-2061
FAX. 045-934-2985



この新聞は、財団法人 河川環境管理財団の助成金を受けてつくられています。2002. 9作成



今後の活動予定

ようやく暑い夏が終わり、そろそろ稲刈り・まるかじりの季節となりました。いろいろ、お忙しい事と思いますが、下記の日程で活動予定をしておりますので、よろしくお願い致します。

- 9月28日(土) 13:00~ 保土ヶ谷公会堂
「よこはま川のフォーラム2002」
- 10月初旬 加藤さんの田んぼの稲刈り
「第3回水辺の楽校協議会」
- 12月7日(土) 「第5回梅田川をまるかじり」

編集後記

今年は河川改修工事が無事に終わり、これからが私たち市民が川の利用と管理について考え、実践しなくてはなりません。6月には和泉川を視察し、愛護会の人たちがいかにして川を守ってきたか話を聞きました。和泉川では地域住民がみんなで清掃や、パトロールを行い、市民のマナー(ペットの糞、看板のいたずら書き等)まで指導していると聞き大変感動しました。それに鋼板の排水路が見事に、昔よく見かけた川原に復元できるなんて驚きでした。まるで今にも映画の寅さんが土手を歩いて来るようでした。経済優先、効率優先の日本でこのような事業が行われているなんて、日本もまだ捨てたものじゃないと思っただいです。

杉崎由直

瀬谷区のと泉川二ツ橋・東山の水辺見学会2002・6



このあたりの和泉川の改修工事前の様子は、鋼矢板護岸の排水路となっており、川原などもなく人が近づきにくい川でした。こうした川を治水安全度を高めるために、改修工事を進めるとともに、

自然の復元、親水性を持たせた水辺拠点として整備しました。この地区は、瀬谷区の中央部にあたり、「ふるさとの川整備事業」の5つの拠点の最上流部に位置しています。 下水道局河川管理課 荒井俊行

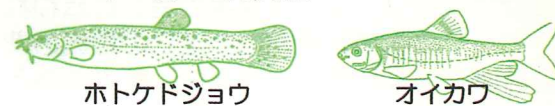
生きもの調査報告から 今回も昨年と同じように魚介類等水生生物の調査を行った。たも網により採取し、固体数を記録した、この結果が下記の表である。大規模な改修工事を実施したにも関わらず、かなりの生物を確認できた。心配されたホトケドジョウの数も87匹とかなり確認できた。今回の工事は生物相にほとんど影響を与えてないと考えられる。今後生物の様子見守っていきたい。

和泉良司

梅田川・川で遊ぶ日 生きもの調査報告

分類	種名	捕獲数
魚類	ホトケドジョウ	87
魚類	オイカワ	31
魚類	モツゴ	14
魚類	シマドジョウ	4
魚類	メダカ	3
魚類	ドジョウ	2
両生類	トウキョウダルマガエル	2
両生類	ツチガエル	1
両生類	オタマジャクシ	14
昆虫	タイコウチ	7
昆虫	アメンボ	7
昆虫	ミズスマシ	1
昆虫	ヤゴ	1
甲殻類	ヌカエビ	8
甲殻類	アメリカザリガニ	105
	合計	287

梅田川 新治小付近～杉沢堰
2002年 7月20日実施



ホトケドジョウ

オイカワ



梅田川・水辺の楽校新聞編集部

第10号
発行日2002/9/01

梅田川水辺で遊ぶ日 水辺の楽校協議会2002. 7

7月20日は去年に続き、夏の恒例になりつつある梅田川でのイベントが催されました。今回も緑土木事務所の方々のおかげで、一本橋めだか広場でイカダ遊びができました。参加された子どもたちはボーイスカウトのみなさんの協力のもと、とても楽しいひと時を体験できました。



なかなか獲れないね!



新治小の卒業生でもある榮君と木村君は子どもたちに生物調査の報告をしてくれました。

平成14年5月には杉沢堰の工事も終了し、梅田川の改修事業もすべて完了しました。地域の方々とのワークショップも重ね、新治小学校であずかっていた魚も放流されました。ますます魅了ある「新しい水辺」がよみがえったと言えるでしょう。

新治小学校 副校長 和泉良司

新治の風景



新治でも少なくなった源氏蛍

新治里山講座にてラベンダーつみ

新治市民の森 子ども森の日

目次

梅田川水辺で遊ぶ日	1
新治の風景	1
第4回梅田川をまるかじり	2
バックトゥーザ梅田川	2
どろんこ総合学習スタート	3
子どもも大人も心潤う梅田川	3
梅田川のほとり いまむかし その2	3
和泉川水辺見学会	4
生きもの調査報告	4

ハイライト

- ・イカダは最高!水辺で遊ぶ日
- ・「まるかじり」の写真
- ・みんなで魚の放流だ!
- ・連載 梅田川のほとり
- ・和泉川二ツ橋・東山の水辺見学会

第4回梅田川をまるかじり2001・12



松平さん木村さんガンバッテ!



養護学校の先生方で水車つくりの予行演習



まずはみんなで
ゴミ拾い



芦垣さんに教えてもらってお正月のお飾りをつくりました。



さあみんなでいっぱい餅つきだ!



山口先生のお話しを聞いて暮れ納豆づくり

梅田川に関心を持ち始めたのはあまり積極的な動機からではありませんでした(恥ずかしかったから)。新治小PTA会長という役目上「まるかじり」に関わらざるを得なかったから、という正直なところ。しかし、この「公的」な立場で水

辺の楽校協議会に参加させていただいたり、今春新治小を卒業した長男が、ここ2年ほど梅田川の魚たちのとりこになってしまったことで、少しずつ「私的」にも興味が湧いてきました。こんな小さな川にもすばらしい自然の営みがあることを知り、子どもたちをこの新治で育てられることを本当に幸せだと思えるようになりました。これからも、この新治に住む間は梅田川や新治の自然のことに、何らかの形で関わらせてもらえたらと思っています。

新治小学校PTA会長 木村晶子

バックトゥーザ梅田川と橋の命名式 2002・5



三保自治会長の
刈谷さん
フォレストヒルズ自
治会長の増茂さん
水辺の楽校協議会
の近藤さん



新治自治会長の
仲丸さん



緑区役所尾辻区長
のご挨拶です。

一年以上前になりますが、放課後にもかかわらず数人の子供達があみとバケツをかかえて川の生物をつかまえているところを何回も見かけました。ここは、工事されるからその間、学校で育ててあげるんだと話していた記憶があります。今回行われた放流はこの生き物達でした。大切に育ててもらった魚たちは、たくさんの子供達の大喜びの中、元気よく故郷の川へ泳いで生きました。そして、あの辺は水深が深く大きな堰があるので近づいてはだめよと言いつけていた所が「くるみ橋」と名付けられた橋と、きれいな水と小さな子供でも遊べるような場所に生まれ変わった事に楽しみとうれしさを感じます。きっとこれからもたくさんの子供達があみとバケツをかかえ宝探しにでも行くかのように梅田川に向かうだろうなと思った今回のイベントでした。

小学校保護者 奥津敦子



こんなにいっぱい
まっちゃった!

気をつけて魚を運んでね



さあ、みんなで放流だ!

魚を放流する時は少し悲しかったです。でも、魚の方はそうは思わなかったらしく、いちもくさんに逃げていった。恩知らずだなと思った。でも、魚は自然の中で生活するのが一番だと思った。しかし、よく見ると放流した場所にとどまって、こちらを見ている魚も数匹いたので少しうれしかったです。

どろんこ総合学習スタート

今年も田んぼお助け隊が大活躍

十日市場中学校1年 榮 大輝



いざ出陣!



ほくにも苗をわけてよ!



新治では珍しくなった蓮田の風景

子ども大人も心潤う梅田川



水田保全ボランティア



梅田川ワークショップ



子ども森の日



梅田川水辺で遊ぶ日

緑区に配属されてからの2年半、梅田川では一本橋メダカひろばが完成し、杉沢堰周辺の改修工事が始まり、新しい橋が完成する等、大きく生まれ変わりました。現在「まるかじり」や「田んぼお助け隊」等では、子ども大人も川に親しみながら周辺の環境を保全する活動を行っています。緑多い緑区の中でも貴重な自然が残るこの地域で、今後は引き続き川の上流部分にある水田や森での活動とも連携しつつ、子どもたちとともにできることから魅力あふれる水辺環境づくりを進めていければと思います。

緑区役所区政推進課 赤荻道子

梅田川のほとり いまむかし お滝さまのことなど その2

何年か振りかて実家の当主(甥子)と杉沢堰跡へ行った。堰神さまを見るためだった。昔あった所から10メートルくらい離れた用水路の山側の杉林の木の根元に仮置き状態で立っていた。前の河川改修の時移転せざるを得なかったので、工事の人に頼んでここへ据えてもらったと教えてくれた。昔は上流の念珠の下の堰の山側の林の中にも、又下流の円城坊(えんしょうぼう)堰の山側の林の中にも、同じような堰神さまがあったといふことだが、円城坊のそれはいつの間にか無くなった(盗まれた)、念珠の下の堰のそれは戦後の改修の折かなんかで行方不明になってしまった。お滝さまの堰神さまも心配で旧城寺の境内に、自宅の裏の畑の縁にあった地蔵さま同様移そうかと考えたが、共同で建てたものだからここに据えてもらったと盗難紛失を心配しながら甥子は話してくれた。堰神さまは、よく見ると高さ70センチ位の不動明王の浮彫りの石仏で、下部に「氏子(うじこ)、刈谷、佐藤、杉崎」の文字が読めた。父親(筆者の長兄)から昔からの言い伝えだと堰の廻りの土地(山林)の地主3軒で堰神さまをここに建て毎年堰普請(ぶしん)したあと、お神酒をあげて祀ったことだが、長兄の代になってからは堰神さまの祭りをやったことは聞いていない、私もそういう記憶はない。この石仏には延享元年の銘があるから約260年前(1774年)に建立されたもの、つまり八代將軍徳川吉宗が退任する1年前ということになる。吉宗は新田開発を奨励したり甘藷(さつまいも)の栽培を奨励したり、後に「享保の治」と云われる政治を行った人、江戸時代この辺は旗本領であったから吉宗のとった農業振興政策は直接この地区の農家に影響があったらと思う。堰を築き堰神さまを祀ったのはその表れかもしれない。歴史のあとを感じる。つづく



お滝さま

杉崎時秋